

鋼ハガレンの身体は、兄弟の絆キズナ。

——すべてを取り戻す旅が、今始まる——



鋼の錬金術師

山田涼介 本田 翼 ディーン・フジオカ
蓮佛美沙子 本郷奏多 / 國村 隼
石丸謙二郎 原田夏希 内山信二 夏菜
大泉 洋(特別出演) 佐藤隆太 / 小日向文世 / 松雪泰子

原作：「鋼の錬金術師」荒川 弘（『ガンガンコミックス』スクウェア・エニックス刊）
監督：曾利文彦（『ピンポン』）
製作：映画「鋼の錬金術師」製作委員会 制作プロダクション：OXYBOT 配給：ワーナー・ブラザーズ映画
©2017 荒川弘 / SQUARE ENIX ©2017 映画「鋼の錬金術師」製作委員会 hagarenmovie.jp #ハガレン

12.1 (fri)

WARNER BROS. PICTURES

兄弟の絆が、 絶望を希望に変える——。

「返せよ、足だろうが、両腕だろうが、心臓だろうが、
くれてやる。だから返せよ! たった1人の弟なんだよ!」

大好きだった亡き母を生き返らせようと、幼い兄弟は最大の禁忌^{タブー}を犯した——。

「これだ!この理論なら完璧だよ! 母さんを生き返らせることができる!」

幼くして錬金術の天才的な才能を見せるエドは、弟アルと、ついに“人体錬成”の理論にたどり着く。母さんにもう一度会いたくて、その笑顔が見たくて…、迷わず前に進んだ幼い兄弟の運命はしかし非情なものだった。二人の錬成は失敗し、エドは左足を、アルは身体全部を代償として“持っていかれて”しまう。

瀕死のエドはとっさに無謀な再錬成に挑み、右腕と引き替えにアルの魂だけをなんとか錬成し、近くにあった鎧に定着させる。あまりに多くを失ったエドだが、決して諦めはしなかった。すべてを取り戻すため、鋼鉄の義肢をつけた身で国家錬金術師となり、鎧の姿の弟アルと旅を続けるエドをやがて人はこう呼ぶのだった。“鋼の錬金術師”、と——。

監督はジェームズ・キャメロン監督の下「タイタニック」(1997)のCGを手掛け、『ピンポン』(2002)で日本映画の新たな扉を開いた映像のスペシャリスト曾利文彦。“鋼の錬金術師”ことエドワード・エルリックを山田涼介、『映画 暗殺教室』(2015)、ウィンリイ役に本田翼、マスタング大佐役にディーン・フジオカ、“人造人間”ラスト役に松雪泰子、その他大泉洋、佐藤隆太、蓮佛美沙子、本郷奏多などオールスターキャストが出演する。

今、全世界待望の——ファンタジー・アクション超大作が動きだす!



錬金術とは——

物質の構成や形状を変化させ、新たなものに作りかえることができる、一見魔法のようだが、「等価交換」を原則とする厳正科学。この術において、最も禁止されていることが、“人間”自体を作ること。この兄弟は、幼いがゆえに死んだ愛する母親にどうしても会いたい、蘇らせる人体錬成を行ったが、失敗。その代償として身体の一部を失ってしまった。



原作紹介

原作は月刊「少年ガンガン」(スクウェア・エニックス)で10年に渡り連載された、シリーズ全世界累計7,000万部超の伝説的コミック。連載中に妊娠出産を経験した原作者が「いつかわが子に読ませたい」との思いを込め、描き続けたエルリック兄弟の感動的な冒険譚は女性からも熱狂的に支持される壮大なファンタジー。



映画公式ツイッター
@hagafenmovie

#ハガレン



WB公式ツイッター
@warnerjp



WB公式フェイスブック
warnerbrosjp



WB公式LINEアカウント
ワーナーブラザーズジャパン



©Hiromu Arakawa
/ SQUARE ENIX